

ふくむら 21

第 74 号

発行日：2022 年 11 月 30 日

発行：福祉村委員会

編集責任者：末 竹 十 大

印刷：ラクスル株式会社

巻頭言

感謝・感謝・感謝

福祉村募金委員長 明比輝代彦

東海教区の宣教方策が、1990年代に「福祉村構想」「複数共同牧会」に絞られてきました。福祉村構想の具体化が準備される中で、2013年に「社会福祉法人・デンマーク牧場福祉会」が認可されました。第一歩として、特別養護老人ホーム「ディアコニア」が設立され歩みを始め、来年には20周年を迎えます。教区内外・全国のルーテル教会・海外のルーテル教会の信徒の皆さまの祈りと献金によって実現でき、神さまのご栄光を顕していますことを心から感謝いたします。

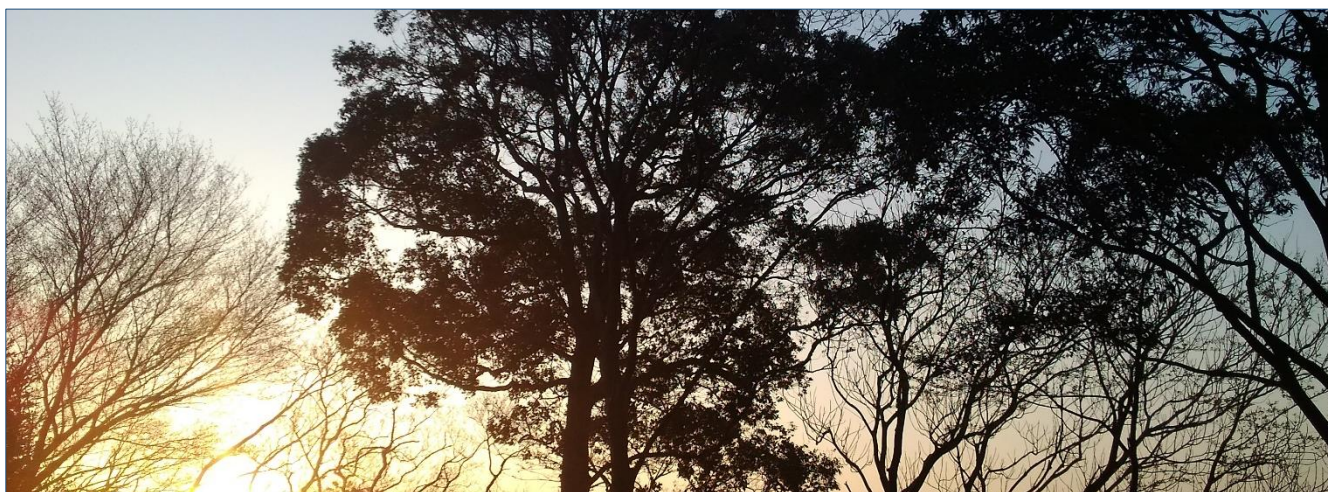
私自身は新霊山教会と社会福祉法人派遣の牧師・チャプレンの任をいただき、3年になりました。当初50名定員で出発した「ディアコニア」は、現在定員80名となりました。児童養護施設「まきばの家」は、来春定員4名の養護施設「そうげんの家」を建設する工事が進められています。「こひつじ診療所」「自立援

助ホームこどもの家」多機能事業所「いぶき」を含み、地域の皆さまへの奉仕に取り組んでいます。

ここに派遣されたのは、神さまの御心と感謝いたします。1968年ルーテル教会牧師按手をいただき、54年になります。この期間、防府・徳山・柳井（山口県）・益田（島根県）・三原・福山（広島県）・名古屋・半田・常滑・拳母・復活・希望（愛知県）・小鹿・清水・富士・掛川・菊川・新霊山（静岡県）の諸教会で奉仕させていただきました。牧師生活最後にこの地に派遣され、墓地・納骨堂「やすらぎの園」を備え、「ディアコニア」の高齢者に奉仕できます幸いを感謝しています。

ディアコニア設立に際して、自己資金不足分1億4,350万円のうち本教会から1億1,900万円を借入しました。その返済が2023年に完了いたします。皆さまに心から感謝です。返済完了しましたら、永年蓄えてきた髭を剃ります。感謝です。福祉村委員会や、法人は次の計画検討を始めました。地域の皆さまへの奉仕の働きが、今後も継続されますよう祈っています。私の寿命が尽きるまで、奉仕を続けたいと願っています。

神さまへの感謝、皆さまへの感謝をこめて「ありがとうございます」を送ります。感謝・感謝・感謝。



「そうげんの家」開設

児童養護施設まきばの家 施設長 小久保秀樹

2007年4月、自立援助ホームこどもの家の運営主体を社会福祉法人に移行し、同じ時期に児童養護施設まきばの家が運営を開始しました。ご存じの通り、その後の足跡は決して順風満帆ではなく、子どもたちの奔放なあらわれにスタッフはひたすらに伴走し続け、まっすぐ歩むことは驚くほど少なく、曲がって折れて、曲がって折れての繰り返し。後から振り返ると子どもとの摩擦がまたよかったりして、実に豊かな15年の営みが過ぎていきました。歴代からの一風変わったスタッフたち（私も含めて「普通」の人はひとりもおりません）が奮闘し、その背中を支え続けたみなさまのおかげもあり、今なお二つの施設が存続し得ているのだと思います。その間、160名近くの子どもたちがまきばの家・こどもの家で生活をして、葛藤を抱えながら旅立ちました。

いずれの子どもも入所してすぐには、親子が別に住まなければならない理由を受け入れられてはいません。まきばの家・こどもの家で一緒にごはんを食べたり、遊んだり、牧場で汗を流したり、喧嘩したり、仲直りするなかで関係性ができていって、「親とやり取りができるかわからなくて不安だけど、家に帰りたい！」と振り絞って打ち明けてくれる子どもがいます。スタッフがその声を代弁して児童相談所と話し合い、親とも話し合いを続け、なんとかかんとか親子の折り合いがついて親の元に戻ることが叶います。帰る当日、希望と不安の入り混じった何とも言えない表情。踏ん張れ、と私たちは願わずにはいません。

ただ、なかには家に帰れずに一人暮らしをして就職したり、大学に進学したり、障害のグループホームで生活を始める子どもがいます。さらに言えば、まきばの家・こどもの家で問題行動を起こし、他の施設に移動したり、やむなく少年院へ見送ったりすることもありました。入所する子どもの背景が多様化していて、2年以内に家庭に戻ることができる子どもが一定数い

る一方で、おそらくずっと帰ることができない子どもが増えているように感じています。

子どもとスタッフにとってどのような環境が良いのかを考えました。考え抜いた結果、このたび来年4月開設を目指し、もうひとつ児童養護施設をはじめことにしました。4名定員の地域小規模児童養護施設といい、場所はこひつじ診療所の西側に建ちます。より少ない人数で家庭的な生活をする中で、炊事や洗濯が身近にあり、味わい深い「子ども時代」を過ごします。いずれ親になる子どもにとっては、スタッフとの家庭的な営みがモデルになりえるのだと考えています。

また、地域との交わりの場所を設け、子どもの友人や地域の方がいつでも来られるようになります。自然に囲まれ、人に囲まれ、ときどき人との関係が嫌になったら逃げればよい。相手も自分も壊れないために一緒に考えていきます。

風に吹かれてもしなやかに根付き、すくすくと大きくなってほしい。そのような思いを込めて、「そうげんの家」と名付けます。



裏庭からのイメージ
玄関からのイメージ



信徒大会実行委員長より 中止における挨拶

第 44 回 東海教区信徒大会

主題「地の塩、世の光として生きる」

副題 ～デンマーク牧場との関わり、
奉仕を通して考える～

「疲れた人は、ここへ来なさい」

東海教区信徒大会委員長 柴田 恵子

私が助産師としてバングラデシュに派遣される前のこと。6ヶ月の研修期間がありました。

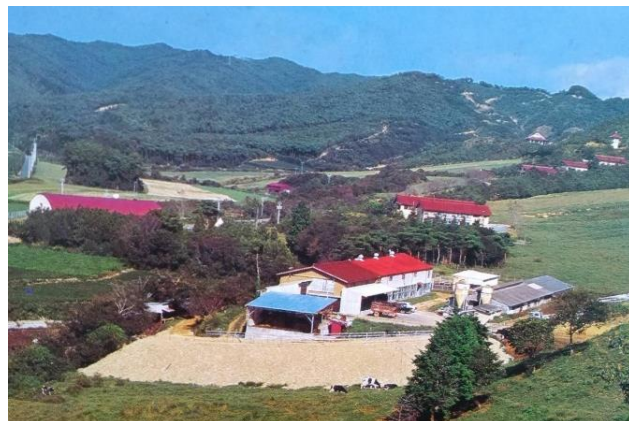
現地のベンガル語、イスラム教、男性社会、40度を超える厳しい暑さ、その異文化の中で身も心もボロボロであった時、目の前にある赤レンガの塀が目に入り込んできました。今でも何故その門をくぐったのか？記憶は定かではありません。しかし、そこがカトリックのシスターハウスであったことは聞いて知っていました。私が門をくぐると、高齢のシスターが何も言わず笑顔で迎え入れてくださいました。温かい紅茶を出してくださり、飲み終わるころ静かに現れサリーの布で区切ったベッドのある小さな部屋まで案内されました。何も語らず、ただ祈りの小さな場所を手で示されたことを覚えています。1日3回、食事の前に聖書を読む声、シスターの賛美が聴こえてきました。私は1週間ほどでしょうか、ほとんど1日中眠り続けました。食事はいつでも自分の好きな時に食べるようにとパンやフルーツが用意されていました。沢山眠ると不思議にエネルギーが充電され元気になって私がその場を離れる数日前からシスターが祈る同じ場所に1日3回座っていたことを思い出します。

2022年11月3日予定されていた東海教区の信徒大会が中止となりました。頭ではコロナの事情で仕

方がないと理解しても、一瞬で計画がなくなった時に心の中は空虚な気持ちに襲われました。しかし私自身何もなくなった訳ではありません。信徒大会準備を続けてきた期間に改めてデンマーク牧場の60年に及ぶ歩みを振り返る機会が与えられました。その中で多くの挫折と神様から奇跡・希望が与えられたことを知るので。今も神様はデンマーク牧場の地で生きて働いておられます。『デンマーク牧場福祉会』の働きが目に見える形で現されているのであれば、目に見えない『聖霊の働き』をこれから具体的に考えていきたいと思ひます。先に述べた、私に起こった出来事が今の私を創り支えています。シスターの存在は社会に見えない誰にも知られない働きですが、神様の愛を示した大切な働きであったと感じます。私も多くの人に祈られ、支えられて歩んできました。これからは、デンマーク牧場という広大な自然の中で、聖霊の風を受けて皆と祈り、山から響く教会の鐘を地域の人々に届けていきたいと思ひます。新霊山教会の使命は何でしょう？デンマーク牧場を訪れる人々が元気を与えられるように、見えない大切な働きに献身していきたいと思ひています。今回、皆さんと直接お会いしてお話する機会は延期されました。でも、きっと、神様が1番良い時を備えていてくださることを信じ待っています。挫折、悲しみ、苦しみから解放されて『神様からの愛と恵みを証する場』と転身する日を夢みて祈り、歩んできいます。

祈り：信徒大会委員長の役目を今日、静かに終えることができ感謝いたします。アーメン。

📍 デンマーク牧場創設時の写真



福祉村のために、篤いお祈りと貴重な献金を心より感謝申し上げます

「福祉村募金」献金者（敬称略） 2022 年 7 月～2022 年 10 月

個人

勝部 哲〔蒲田〕 ジェームス・サック〔三鷹〕 綱 春子〔聖パウロ〕 徳永一三〔大阪市〕 吉岡宏美〔竹の塚〕
 梅田和寛〔デンマーク牧場福祉会〕 小野エミコ、中山由美子、西野孝枝、宮崎典子、望月隆延、山本
 美智代〔清水〕 中井奈津子、芳賀直哉・美江、増田恵子〔小鷹〕 池谷益代、伊藤七男・初枝、遠藤
 富美子、宗 美江、原 ふじ子〔静岡〕 伊藤節彦・真理、大柴 潔、片川三枝子、川村千代江、櫻井
 隆・國江、杉本光子、沼野寿子〔栄光〕 明比輝代彦・史子、柴田恵子・光、鈴木敏雄・皓子
 寺嶋豊司・文世、中川和子〔新霊山〕 伊藤旭人〔浜松〕 石田宏美、遠入美智子、川崎昌弘、小松康宏
 福岡美恵子〔岡崎〕 梅村亜恵〔挙母〕 齋藤幸二〔知多〕 石川吏志・美代子、犬飼通之・佐智子、大野
 信雄・良子、小原春子、神崎 昇・悦子、岸 享子、木村敦子、黒野正信・春枝、後藤由起
 白井美枝子、杉浦良一、鈴木光治・貴美子、田村辰夫・勝子、鳥飼勝隆・豊子、永津浩哉・睦子
 深谷昭治・節子、藤田房子、藤原 薫、宮田増男・久美子、安井則夫・芳子〔名古屋めぐみ〕
 浅井道子、稲垣八重子、甲斐亜希、勝田周子、草野武志・淳子、谷川卓三・文江、長谷川善造
 福田三江子、古川のぞみ、松宮洋子、安田久夫・チヨ子、山下裕子〔高蔵寺〕 匿名（1 名）

団体

小城ルーテルこども園、日田ルーテルこども園、みのり教会、浜松教会、浜松教会女性会
 古楽器演奏会チャリティー（浜松教会）、浜名教会、東海教区女性会

2022 年 7 月～2022 年 10 月 822,301 円

〈福祉村募金振込先〉（郵便局）振替口座番号 00800-2-98186 福祉村委員会

トピック① <落雷事故> 9 月 2 日 13 時 35 分に、近くで轟音があり、あ
 たりは停電、多くの施設は電話が繋がらなくなりました。「まきばの家」
 に雷が落ち、電子機器から煙が上がり火災報知器が作動し、消防車、パト
 カーが「まきばの家」の駐車場に集まっていた。幸いにも子ども、職
 員には被害がありませんでした。状況を確認していくと使えなくなった設
 備が多いことに驚きました。停電も翌日まで続きました。また、「まきば
 の家」から離れている「こどもの家」でも雷の影響と考えられる機器の損
 傷がありました。現在は、復旧が進んでおり、落雷前の状況に近づいています。このような災害はテレ
 ビや新聞で知ることがありますが、自分たちには縁遠いように思っていました。しかし、実際に経験す
 ると普段できていることができなくなるという大変さを感じました。今回の件で多くの方々にご心配を
 おかけしました。また、皆様の温かい支援に感謝いたします。

まきばの家の駐車場に集
まった消防車、パトカー

トピック② <ふく茶> ふく茶をご購入くださりありがとうございました。一袋につき 200 円の利益
 になります。お茶屋さんの割引も含めて今年は 96,830 円の利益がありました。ふく茶は年間を
 通して販売しています。ご購入をお待ちしています。（連絡先 ☎ 054-283-8882）

編集後記 福祉村はそこで生活する人たちが一つの体を形作っています。仕える人と仕えられる人の区
 別はありません。すべての人がそれぞれにできる形で支え合い、福祉村を形作っています。祈りながら
 支えてくださる教区のみなさまも福祉村のメンバー。これからも一緒に生きて行きましょう。（末竹）